

2022 年度(令和4年度)学校評価自己評価表

精華中学校区	校番 34	福山市立金江小学校
最終更新日	2023年(令和5年)2月1日	

I 福山市

ミッション	福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン	「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒はコロナ禍にあっても、人のため・地域のためにできることはないかと考え活動を工夫している。</li> <li>・一堂に会することは難しいが、学校・保護者・地域が互いに連携協力できるように、各学校の情報を細やかに知らせる。</li> <li>・小規模校の良さを活かしてほしい。</li> </ul>	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識が高く、言われたことを守ろうとするだけでなく、自ら考えて行動することもだんだんとできるようになってきている。</li> <li>・自分の考えをしっかりと伝えようという意欲はあるが、うまく伝わるよう工夫して伝えるまでには至っていない。</li> <li>・地域とのかかわりが強く、中学校区に対する愛着は強い。</li> </ul>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&amp;倫理観”)</p>	<p>【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学ぶ力】【自己形成力】</p>
		めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな学力を身につけ、自ら進路を切り開く子ども</li> <li>・自己肯定感が高く、社会に貢献できる子ども</li> </ul>
		中学校区として統一した取組等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的な学び」の授業づくりに取り組み、学力の向上を図る。</li> <li>・「自己表現」「あいさつ」に取り組み、自己肯定感の向上を図る。</li> <li>・「自分で選び・決める活動」に取り組み、自己形成力の向上を図る。</li> </ul>

III 自校

<p>ミッション</p> <p>地域に貢献する 自立した子どもの育成</p> <p>～主体的に学ぶ授業の実現～</p>
---

<p>学校教育目標</p> <p>共に高まる たくましい子の育成</p>
--------------------------------------

<p>現 状</p> <p>&lt;児童生徒&gt;</p> <p>真面目な生活態度で素直な児童が多い。学年単学級で固定化された学級集団で生活しているため、自分の良さを発揮する機会に限られ、自分の思いや考えを伝えようという意欲はあるが、豊かに表現するまでには至っていない。学習面では、学びに向かう姿勢や基礎学力は定着してきているが、子どもの豊かな発想による学びの深まりには課題があり、自分で考え自分から取り組む力や、自分の思いや考えを自信を持って表現できる力を更に高めていく必要がある。</p> <p>&lt;授業&gt;</p> <p>授業では、児童と共に単元計画を立て、児童が自分のめあてに沿って学びを振り返る場を持つことで、考えの広がり・深まりや学習のつながりを実感できるよう取り組んできている。児童が興味・関心・意欲をもって課題を見出し、課題解決の方法を自ら考えられるような授業づくり、自分の学びを実感し次へつないでいけるような授業づくりが必要である。</p>
--

育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	主体的に学ぶ力	思考力・判断力・表現力	自己形成力	
めざす子ども像	1～4年	日常生活をよくするために、生活体験などの情報を生かし、自分なりの理由を付けて課題を解決している。	自分の考えを持ち、話したり書いたりして表現している。	思いやりの心を持ち、目標を達成するために、協力し合い、粘り強く努力している。
	5・6年	日常生活や地域社会をよりよくするために、様々な情報の中から課題に応じた情報を選択し、根拠をもって解決している。	既習事項を活用して、自分の考えや意見を話す・書くなどで表現している。	誰に対しても思いやりの心を持ち、より高い目標を達成するために、相手の立場や考えを尊重しながら、粘り強く取り組み、やりぬいている。
研究	テーマ	主体的に課題を追究し、共に高まる子どもをめざして ～ICTの効果的な活用と子どもが主体的に活動する場の工夫～		
	内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が主体的に活動する場を工夫することで、自分で考え自分から取り組む力や、自分の思いや考えを自信を持って表現できる力をつける。</li> <li>○児童がICT機器を活用し、学びを深められるようにする。</li> </ul>		
めざす授業の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「自分で選ぶ・自分で決める・自分で計画を立てて進める・自分で軌道修正する・自分の言葉で語る・自分の学びを振り返る」など児童が主体的に活動する場を工夫することで、児童の学ぶ意欲と学力を向上させることができる授業</li> <li>○教科・単元の特徴に応じてICTを効果的に活用し、学びを深めることができる授業</li> </ul>			

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立金江小学校

年 目	中期経営 目標	重 点 分 類	短期経営 目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)					
						□指標に係る 取組状況	70以上 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状 況	70以上 評価	達成 評価	総合 評価	改善方策
1	「主体的な 学び」の授 業づくりを 進めて、学 ぶ意欲と学 力を向上さ せる。	★ 新 規	主体的、 協働的に 学ぶこと ができる 授業をつ くる。	・児童が主体的 に活動する場 を工夫した授 業を一人一回 以上提案し、検 証する。	・振り返りにお いて「課題の解 決に向けて、自 分で考え、自 分から取り組 んでいる」児童 を80%以上に する。  ・国語・算数の 単元末テスト において正答 率60%未満の 児童を10%未 満にする。	□児童の興味関 心を生かし、 単元計画を共 に考えること で、児童が見 通しをもって 学習できるよう にした。また、 掲示や前時の ふり返りを活 用するなどして 、既習事項と 本時の学習の つながりが実 感できるように した。「課題の 解決に向けて、 自分で考え、 自分から取り 組んでいる」 児童・88%	4	4	・児童が意欲や 見通しをもっ て学習できる よう、ゴール を明確にし共 に単元計画を 立てたり生活 に結びつく場 面を設定した りする。ふり 返りを大切に し、学びの伸 びを実感させ る。  ・個々のつま ずきを把握し 、それぞれに 合った学習方 法を児童と共 に考え支援す る。既習内容 を復習し、苦 手意識を減ら していく。目 標を持たせ、 スモールステ ップで取り組 むことで、達 成感を持たせ る。	□児童の興味関 心や疑問を基 に共に単元計 画を立てたり 、教科の特質 に応じた「本 質的な問い」 を立てねらい を明確にした 授業を行っ たりして、児 童の主体的な 学びに向けて 取り組んだ。視 点に沿ってふ り返らせ、こ めントを入れ ることで自分 の学びの伸び を実感したり 、次の授業に つなげたりで きるようにし た。児童のふ り返りは掲示 し、お互いに見 合った。  「課題の解決 に向けて、自 分で考え、自 分から取り組 んでいる」児 童…90%	4	4	4	・児童が意欲 や見通しをも って主体的に 学習できるよう 、ねらいを明 確にし、思考 を深める「問 い」を精選し ていく。単元 間や学年間の 系統性を意識 し児童の学び をつなげる。 ふり返りを大 切にし、学び の伸びを実感 させる。  ・個々の実態 を把握し、そ れぞれの目標 を持たせ、達 成のための手 立てをきめ細 かく児童と考 え、継続して 取り組む。

		新規	読書活動に積極的に取り組む児童を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>•おすすめの本をロイロノートで紹介し合う。</li> <li>•読書郵便を校区で交流し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•おすすめの本を月1回以上ロイロノートで紹介し合う。</li> <li>•おすすめの本を3冊以上読む児童を80%以上にする。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> おすすめの本を月1回以上ロイロノート等で紹介し合った。 <input type="checkbox"/> 読書デーや読書月間などの機会におすすめの本を読んだ。3冊以上読んだ児童…76% (2冊以上…93%)	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>•読書デーなどでおすすめの本を紹介し合うことを継続し、2学期中に全員が2冊以上読むことを目指す。ロイロノートでまとめている読書郵便を他学年とも交流する。おすすめの本を読んだ後の感想も交流し合う。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> おすすめの本の紹介を継続した。図書委員会や教職員からのおすすめの本コーナーを設けたり、読書月間には表彰も行ったりして、楽しく読書することができた。ロイロノートでの他学年との交流も2～3月に予定している。 3冊以上読んだ児童…92% ◎取組を通して読書活動に積極的に取り組む児童が増えてきている。	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>•読書デー、読書月間などを生かし、おすすめの本をロイロノートで紹介することを継続していく。他学年とも積極的に交流し合う。</li> </ul>
1	教職員の資質・能力の向上を図る。	新規	児童が主体的に自分の言葉で表現する場を設ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>•教科・単元の特徴に応じて、ICTを活用して考え合う場面を取り入れた授業を行い、校内で共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•「自己研鑽している」「ICTを活用して考え合う場面を取り入れた授業を共有し、授業づくりに生かしている」教職員を100%にする。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 校内研修等で、各学年のICTを活用して考え合う授業について交流し合った。各学年の発達段階に応じて指導計画に基づき実践している。活用事例集を作成中。 <input type="checkbox"/> 「自己研鑽している」…100%	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>•引き続き、校内研修等で授業内容の交流を行い、ICTを効果的に活用して考え合えるようにしていく。活用例を共有し、継続的に取り組めるようにする。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 校内研修等で、各学年のICTを活用して考え合う授業実践を共有したり、年間の活用表をまとめたりした。 <input type="checkbox"/> 「自己研鑽している」…100% ◎研修を継続することにより、ICTを活用して自分の考えを表現する場が広がった。	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>•目的に応じて効果的に活用できているかについて、検証しながら、継続して活用実践の交流をしていく。事例集の活用を図る。</li> </ul>
1	児童・生徒の自己肯定感を高める。	新規	生活習慣を確立し、自分から進んで行動する児童を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>•「あいさつ」「思いやり」に全校で取り組む。</li> <li>•児童主体の学校行事、係活動、委員会活動を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•毎週の振り返りで「自分からあいさつができた」「思いやりのある行動がとれた」児童を85%以上にする。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> あいさつレベルを視覚化したりあいさつカードに保護者のコメントをもらったりして継続して取り組んだ。「自分からあいさつができた」児童…95% <input type="checkbox"/> 月目標にして意識づけたり、掲示や交流をしたりして継続して取り組んだ。「思いやりのある行動がとれた」児童…90%。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>•今まで行ってきたことを継続して取り組むとともに、子どもたちの様子を教職員で交流しながら児童の思いを受け止め、声掛けをし、寄り添いながら指導していく。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> あいさつレベルの意識付けにより、気持ちをこめたあいさつができるようになってきた。教職員は、あいさつの折に一言添えて、児童との関係づくりに努めた。保護者には、あいさつカードの協力と共に、学級懇談などの場で啓発をした。 <input type="checkbox"/> 「自分からあいさつができた」児童…94% <input type="checkbox"/> 児童会の取組としてふわふわことばの掲示をし、全校で思いやりのある言動が意識できるよう取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 「思いやりのある行動がとれた」児童…89%。	4	3	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>•あいさつ、ふわふわことばの取組を家庭や地域とも連携して継続する。子どもたちの様子を教職員で交流し、児童の思いを受け止め、声かけをし、寄り添いながら指導していく。</li> </ul>

				<p>・「自分にできることを考え行動できた」児童を85%以上にする。</p>	<p>□運動会や学習発表会、委員会活動等では、児童と共に内容を考え、つくり上げていった。「自分にできることを考え行動できた」児童…87%。</p>		<p>・児童と対話し、どのような学校・学級にしたいかという児童の思いが形になるよう、共に活動内容を考える。</p>	<p>□どんな活動をすれば学級・学校がよりよくなるかということ児童主体で考え実行できるよう、支援した。委員会活動などでは工夫を凝らした活動を行うことができた。「自分にできることを考え行動できた」児童…85%。 ◎思いやりをもち、自分から進んで行動できる児童が増えてきている。</p>			<p>・目的意識・相手意識をもたせ、どんな学級・学校にしたいかを児童と共に話し合い、活動や行事をつくり上げていくことを大切にする。児童同士がつながり合うことで喜びを感じ、さらなる行動意欲につながるようにしていく。</p>
--	--	--	--	--	---	--	---	---	--	--	--

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。